

免責

本記事の内容は、以下の KB を日本語訳したものです。

不明点がある場合は、KB の内容に従ってください。

<https://community.withsecure.com/en/kb/articles/29757-how-to-configure-click-time-url-protection>

クリック時保護の有効化について

ビジネスクリティカルな業務を Salesforce のようなクラウドプラットフォームで実行する場合には、セキュリティは最優先課題となります。リスクの低減と円滑な業務遂行を両立するために、フィッシングのリンクのような危険な URL からユーザーや企業環境をリアルタイムに保護する必要があります。本記事では、WithSecure Cloud Protection for Salesforce の URL 保護の設定について記載します。

クリック時保護による環境とユーザーのリアルタイム保護

URL リンクは投稿された時点では安全そうに見えても、時間の経過により危険な URL となることがあります。クリック時保護では、URL をクリックするたびごとにリアルタイムで URL の検証をします。それにより、時間の経過により危険な URL となっても保護することができます。

WithSecure Cloud Protection for Salesforce では、Salesforce の機能それぞれに対して URL 保護の ON/OFF を設定できるようになりました。

例えば、社内ユーザーによる全ての Chatter 投稿へクリック時保護を設定することで、社内ユーザーを最大限に保護することができます。同時に、外部ユーザーへの送信メールに対するクリック時保護を無効にすることで、円滑な業務遂行が可能となります。このように、WithSecure Cloud Protection for Salesforce は、お客様それぞれのセキュリティニーズに合わせて、URL 保護を柔軟にカスタマイズすることができます。

URL クリック時保護の設定方法

クリック時 URL 保護の設定方法については、デモビデオを(英語)ご覧いただくか、以下の簡単な手順で設定いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=062JNGIvTBE>

手順 1：アプリの表示

Salesforce にログインし CPSF のアプリから「管理」タブを開きます。

手順 2：URL 保護を選択する

「管理」タブから「URL 保護」を選択します。

手順 3：URL 保護を有効にする

URL 保護が有効になっていることを確認してください。この機能を有効にすることで、潜在的なセキュリティ脅威を検知するために URL をスキャンすることができます。

The screenshot displays the 'Administration' section of the Cloud Protection interface, specifically the 'URL Protection Settings' page. The page is organized into several sections:

- General:** A toggle switch for 'Scan URLs in standard objects' is turned ON. A 'Configure locations...' link is visible.
- Settings:**
 - 'Check reputation of URLs' is turned ON. The dropdown for 'When URL is rated harmful:' is set to 'Block access'.
 - 'Check category of URLs' is turned ON. The dropdown for 'Select disallowed categories:' shows a list with 'alcohol and tobacco' selected (indicated by a checkmark). Other categories include 'abortion', 'adserving', 'adult', and 'anonymizers'.
 - 'When a disallowed URL is found:' is set to 'Block access'.
- Additional Settings:**
 - 'Replace URLs with click time protection links' is turned ON. A 'Configure objects...' link is present.
 - 'Exclude trusted domains, hosts, and URLs' is turned OFF. A link to 'Open the list of trusted domains, hosts, and URLs...' is provided.
 - 'Exclude domains that support rich link previews' is turned ON. A link to 'Open the list of domains...' is provided.
- Notifications:** A section with a right-pointing arrow, currently collapsed.

The interface includes a search bar at the top, navigation tabs for 'FILE PROTECTION', 'URL PROTECTION', 'GENERAL', 'MANUAL SCAN', 'QUARANTINE', 'TOOLS', 'LICENSE', and 'SUPPORT', and buttons for 'Discard changes' and 'Save'.

手順 4：URL スキャンをする標準オブジェクトを選択する

URL スキャンの対象とする Salesforce の標準オブジェクトを選択できます。選択したオブジェクトに含まれる URL は、Salesforce にアップロードされる際に、セキュリティ上の脅威がないかスキャンされます。

Scan URLs in standard objects

Select objects where URLs are scanned for harmful and disallowed content:

- Case (description and comments)
- Chatter (posts and comments)
- Inbound email message
- Lead (description and website)
- Outbound email message
- Task (comments)

[Close](#) [Confirm](#)

手順 5：「設定」を開く

次に、「設定」を開きます。

手順 6：クリック時 URL 保護用のオブジェクトを選択する

「設定」の配下で、クリック時 URL 保護のオブジェクトを選択することができます。この設定により、そのリンクがクリックされる度にスキャンが実施されます。

Replace URLs in selected objects

Select objects where URLs are replaced with click time protection links:

- Case (description and comments)
- Chatter (posts and comments)
- Inbound email message
- Lead (description and website)
- Outbound email message
- Task (comments)

[Close](#) [Confirm](#)

注意：手順 3,4 で URL スキャンのオブジェクトを選択しても、本手順でクリック時保護の対象オブジェクトを選択していない場合、対象の URL はアップロード時のみのスキャンとなります。

手順 7：変更を保存する

他のページへ移動する前に、必ず設定を保存してください。

上記の簡単な手順を実行することで、Salesforce の URL 保護を簡単に設定することができ、ビジネスクリティカルな Salesforce 環境を高度なサイバー脅威から保護することができます。

実際にどのように機能するかは、以下のデモビデオ(英語)でご確認いただけます。



[How Click-Time URL Protection Works - WithSecure Community](#)